

山行報告書

報告書作成

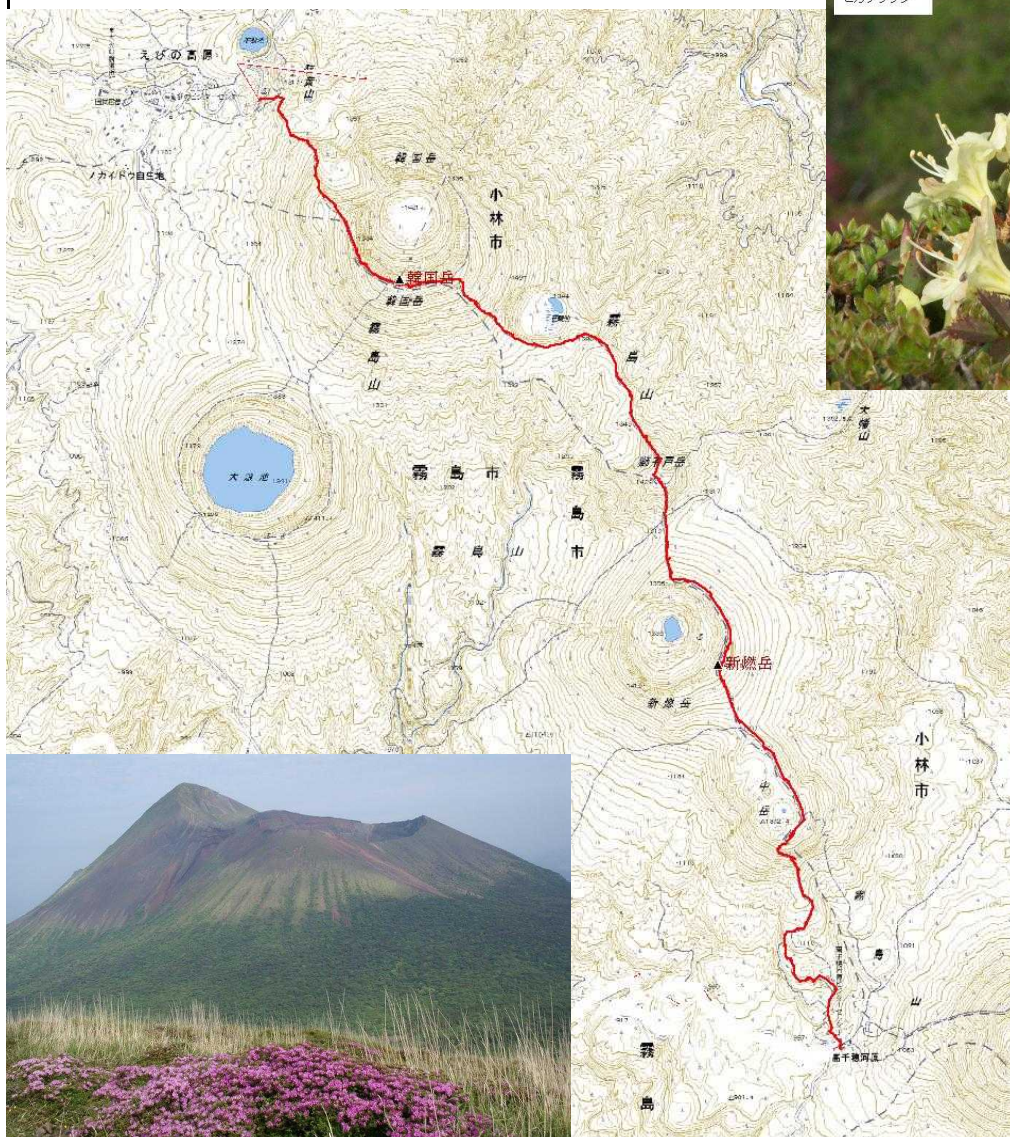
2008年5月29日

山名 [山域]	霧島連山	目的と方法	えびの高原から高千穂河原まで縦走
登山期間	5月22日	山行形態	日帰り
参加人数			2人

[5/22(木)晴れ]

11時30分高千穂河原 = タクシーで移動 = 12時えびの高原 - 13時10分韓国岳、30分発 - 14時40分獅子戸岳 - 15時10分新燃岳 - 15時50分中岳 - 17時高千穂河原 (行動時間5時間、ほぼコースタイム通り)

概念図



行動記録

当初23日に登る予定でしたが、天気予報が優れないため、指宿観光を取り止め志布志でフェリーを下船後急いで高千穂に向った。途中でタクシーを予約し高千穂河原から登山口であるえびの高原に送って頂いた。ここで準備をしていると噂の鹿の群れが現れ写真を撮らせてくれたがスタート時刻が遅いので長居は出来ない。登山口には所々ヤマキリシマが咲いていたが、登るにつれ蕾が固くなる。しかし頂上では黄色いヒカゲツツジが満開で我々を迎えてくれた。ここからは高千穂岳の優美な姿をを観ながらの縦走が始まる。獅子戸岳、新燃岳と続くが徐々に開花したヤマキリシマが多くなり目を楽しませてくれる。また新燃岳の火口湖にはエメラルド色の水が蓄えられており、手前のヤマキリシマとの対比が美しい。最後のピーク中岳では定番ではあるが、高千穂峰を背景にした満開のミツマを撮影した。今回非会員も同行したが、休憩、写真撮影を含めても順調に5時間で終点の高千穂河原に到着できた。

感想

予定を変更して1日登山日を早めたため、出発が12時と遅れたが、天候に恵まれ、順調に縦走できた。韓国岳ではまだ蕾が固かったヤマキリシマも中岳ではほぼ満開で我々を迎えてくれ、素晴らしい景観を楽しませてくれた。